

第 53 回丸心合同運営推進会議議事録

日 時：令和 7 年 6 月 2 7 日（金）1 5 時～

場 所：丸心ふわり 1 階フロア

出 席 者：家族代表 江口様（家族会副会長）

北区第 3 地域包括支援センター 川上様

事業者 河田（ホーム長） 関川（丸心管理者） 横山（丸花管理者）

鷹架（ふわり管理者） 煙山（ふわり CM） 中川（事務） 西倉

《 議 題 》

① 各サービス利用者様現況報告

- ・グループホーム丸心
- ・1F 丸心ユニット

関川：1F 丸心ユニットでは利用者様の入退居はありませんでした。皆さんお変わりなく生活されています。6/13 には屋外で 2 施設合同のジンギスカンパーティーをしました。久しぶりの屋外での行事に、皆さんとても喜ばれて、たくさん召し上がり楽しいひとときを過ごされました。

6/1 から月 1 回、ご家族と居室内での面会が可能になり、事前予約が必要で各ユニットにおいて午前と午後にひと組ずつ、時間は一回 15 分程度ですがご家族も何年か振りに利用者様と居室で一緒に過ごすことができ、とても喜ばれています。

- ・2F 丸花ユニット

横山：丸花ユニットには、新しくデイサービスの方も含め男性の利用者様も一時期より多くなっていますが、穏やかな方が多く他利用者様同士関わることが多い雰囲気、将棋をさされることもありますし、風船バレーや体操等のレクにも参加されお元気に過ごされています。

- ・デイサービスセンターこころ

関川：最近、デイサービスの体験や新規利用者様が増えました。デイサービスを利用し、ご家族の都合などにより、グループホームの緊急ショートステイも合わせて利用される方も増えています。利用者様にとって通い慣れ、馴染みの環境の中でのショートステイは不安なく過ごせていらっしゃるようですし、ご家族様にとっても安心とおっしゃって頂いています。

- ・小規模多機能丸心ふわり

鷹架：利用者様はお変わりなく過ごされていますが、通所の利用者様が入院や他施設入所等のため減少し、外から通われる方が現在 3 名になっていま

す。6/21にみずほ東公園で、交流のある屯田すずらん保育園の運動会が開催され、数名の利用者様と一緒に散歩がてら応援しに行ってきました。離れた場所からの見学でしたが、利用者様たちは小さな子供さんたちの一生懸命な姿に「かわいいねー」「がんばってー」と応援しながら顔をほころばせていました。

中川：6/26にふわりで予定されていた札幌市の運営指導が行われました。通常は概ね6年おきくらいに指導に回ってくるのですが、コロナ禍で延期になっていたため今回は8年振りの指導でした。普段は職員も多忙ですので、なかなか振り返って点検することが難しいものですが、サービス提供や介護記録など適正に行っているかなどを確認する良い機会になったように思いました。幸い指導となる事柄はなく、とても良くやっているとの評価をいただきました。今後は世代間交流や地域貢献を次の目標として頑張りたいとのことでした。

西倉：地域との交流・世代間交流についてですが、平成29年から屯田すずらん保育園の園児たちが2ヶ月に一回、ふわりを訪れて歌を披露したり一緒に工作やお絵描き等して過ごす交流会を利用者様たちもとても喜んでおられました。その後コロナ禍で交流を中断していましたが、今年からまた交流を再開したいと思っています。以前のように施設内で直接触れ合うことは難しいですが、短時間でも外での交流会などが出来ないか方法を検討しています。

② 活動報告および今後の予定

- ・5月に戸田公園にお花見に出かけました。長距離ですので、8人乗り送迎車に乗り込める方々と職員で出かけましたが、満開の桜に感動して参りました。今回のドライブに出かけられなかった利用者様も毎日のお散歩の中で近隣のお花見をさせて頂きました。

- ・お天気にも恵まれた6/13の屋外での合同ジンギスカンパーティーは久しぶりの合同行事で、行事への参加が初めての職員もおりますので準備や進行についても少し戸惑うこともありましたが、送迎ドライバーや以前勤務していた職員もちょうど顔を出しに来る機会があり設営や焼き物などを手伝っていただきました。また、利用者様も朝からおにぎりを作りに参加して下さいました。利用者様全員とはいきませんでしたでしたが、久しぶりの屋外での食事を楽しみ、食後には、綿あめ機で作ったミニ綿あめを嬉しそうに召し上がっていました。

③ その他

- ・事業所の防災対策について

中川：丸心では毎月1回主に夜間の火災を想定して防火訓練を行っています。

また、震災や風水害等の災害に備えハザードマップの確認（当施設の場所における浸水時被害想定は40cm程度大人のひざの高さ程度）しておりますが、災害発生時における業務継続計画を策定しております。内容については計画に基づいた訓練を実施し、不備があれば修正して参ります。また、甚大な災害が発生の際には事前にご家族に案内をしておりますNTT災害用伝言ダイヤルを使い、ご家族への情報提供、非番の職員への情報提供を行うことにしています。災害用伝言ダイヤルの使用方法については毎月1日、15日にメッセージの登録など練習をすることができるのですが、職員の勉強会等で中々、日程が合わず実訓練はしていないのですが、いざという時慌てないようにしておきたいと思えます。

第3 包括川上様：先日、ちょうど別の集まりで日本公衆電話会の方が見え、災害伝言ダイヤル171を実際に使ってみることがありました。連絡先を確認したらこちらにお知らせします。

江口様：最近では胆振東部地震も大きな地震で、その後の停電も大変でしたが、かつて釧路に住んでいた時にも釧路沖地震を体験しました。突然の大きな揺れに驚いて何もできませんでした。毎月避難訓練をして災害に備えておくのは大切なことだと思えました。

河田：グループホーム開設当初は消防へ報告する年2回の訓練でしたが、みらい屯田の火災後は毎月訓練するようになりました。火災が発生した時に驚いて職員が最初に外に出てしまうと利用者様を取り残されてしまいます。当施設には消防への自動通報システムやスプリンクラー等防火設備がすべて備わっています。火災が発生した時の通報や初期消火、避難誘導の方法を繰り返し訓練することで、職員は自然に行動できるようになっています。職員も訓練の大切さを理解しておりますので毎月、夜間の火災発生、地震、水害発生時などテーマを変えながら訓練を実施いたします。

・丸心家族の会より（総会・花植えについて）

中川：5月に丸心家族会の書面による総会が開かれました。議案はR6年度活動報告・会計報告、R7年度活動計画・予算案。書面決議により21/27の承認で新年度がスタートしました。5/25（日）あいにくの空模様の中でしたが、家族や職員と一緒に花植えを実施しました。次に集まる機会は例年10月～11月に行う花壇の片付けですが、今年は途中に一度、花壇の草取りのためまた集まる機会を作りたいと考えています。

以上、その他ご質問、ご意見等なく閉会